

オレンジキャンペーン



©2018「おばあは、だいじょうぶ」製作委員会

9月の「世界アルツハイマー月間」に併せ、認知症への理解を深める活動「オレンジキャンペーン」を行います。

☎中央地域包括支援センター Tel. 72-9986



認知症を題材にした映画
「おばあは、だいじょうぶ」上映会

📅9月16日(土) 開場9:00 上映9:30~11:20
📍穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール
👤100人(当日先着順)
📌上映会に合わせて認知症に関する展示も行います。

図書館特設コーナー

市内5つの図書館に特設コーナーを設け、認知症に関する本を提示します。
📅9月16日(土)~29日(金)

認知症に関する展示

オレンジキャンペーンの活動紹介や認知症に関する展示を行います。
📅9月21日(木)~29日(金) 📍市役所1階西側

おばあちゃんの日課は朝と夕方の散歩です。自宅からそれほど遠くない畑へ様子を見に、毎日同じルートで、同じルーティン。しかしある日、おばあちゃんは迷子になってしまいました。たまたま近所のおじさんが「ねえさん、どうしたかいね?」と声をかけてくれたおかげで大事には至りませんでした。
自宅から畑までに住む近所の人は、おばあちゃんが認知症だということを知っています。伝えただけではありませんが、徐々に分かってくれていったという感覚です。いつも遠目におばあちゃんを見守ってくれて、それが本当にありがたく、安心します。地域の皆さんに支えられているということを実感しています。

出きたり、具材を切った後の手順がわからなくなってしまう。はじめのうちは「おばあちゃん、味ないよ」「おや? そうかい」などのやりとりができました。しかし、鍋を焦がしてしまうことや、袖が内側に入り込んだまま洗濯物が干されていることが徐々に増えていき、おばあちゃん自身も「私はごんごんいろいろなことができなくなってしまう」と、寂しそつにつぶやいています。
それでもおばあちゃんに家事をしてもらっている理由は「家族の一員だから」です。おばあちゃんの頭の体操だと思いい、危なくない範囲で、家族がおばあちゃんを支え、家族の一員として役割を持ってもらっています。

見守りシールをもっと知ってほしい
見守りシールには「安曇野市」という表記があります。それだけで、この人は安曇野市から来たことが分かりません。認知症の人が行方不明になると、思いもよらないところで発見されることがあります。そのようなとき、このシール一つで家族と市に連絡が入ります。家族はそれだけで安心感が増します。見守りシールは、認知症の人にとってのお守りです。このシールの意味を多くの人に理解してもらい、認知症の人を支えてもらえたらありがたいです。
そして、見守りシールを貼っている人を見かけたときは、まずはそっと様子を見かけたり、声をかけてください。そして様子がおかしいと思ったら「何か困ったことはありませんか?」と声を掛けてもらえたらありがたいです。



認知症の母の様子を語る Aさん

本人も家族も葛藤している
しっかりと物事をきちんとこなしていたわが家のおばあちゃんは、見守りシールを貼った物を身に付けています。3年ほど前、保険の手続きをしていた時、自分の名前が書けなかったことがきっかけで医療機関を受診しました。医師から告げられた「認知症」という診断結果を、おばあちゃんと私たち家族は複雑な思いで聞いていました。
認知症は、診断を受けた日から病状が表れるものではありません。日を追うごとに今までできていたことができなくなってくる病気で、投薬や生活スタイルによっては進行を遅らせられるともい

家族の一員だから
わが家では、今でも料理と洗濯はおばあちゃんの役割としてやってもらっています。おばあちゃんは手の込んだ料理が得意で、昔はよく煮物などを作ってくれました。それが、徐々に味の濃い煮物が減り、味のない煮物になります。
家族は、今までのおばあちゃんの姿を知っているからこそ、できなくなっていくおばあちゃんの姿が、日々折り合いを付けながら暮らしています。おばあちゃんも同じように、できなくなっていく自分を悲しんでいます。

お守りの「見守りシール」
地域に支えられて
本年2月から交付を開始した見守りシール。衣類や持ち物に貼ることで、万一行方不明になった際、早期発見・保護につながります。実の母が認知症となり、見守りシールを活用しているというAさんに話を聞きました。

支えられている人、支える人
住み慣れた地域で安心して暮らしたいという願いは、だれもが持っている気持ちです。それは、認知症になったとしても同じです。そのために必要な周囲の人の理解と支え。今月号では、認知症の人の家族の思いや地域で支えるための取り組みを紹介します。



見守りシールで見守りの協力を

右記2次元コードから手順をご確認ください。

☎高齢者介護課 Tel. 71-2474



ご家族
シールを取得し、洋服や持ち物に貼り付けておく
必ず事前にご相談の上、申請書を高齢者介護課へ提出してください。

市民の皆さん
シールを付けた人が困った様子のとき、声掛けと2次元コードの読み取りを事前登録した連絡先に発見メールが自動転送されます。2次元コードが読み込めなくてもシールに記載の番号(右図 AA0000)を市や警察に教えてください。



見守りシール原寸大